



社会新報 (岡山版)

2023年4月1日
(民主主義と地方自治)

社会民主党全国連合機関紙宣伝局(毎週水発行)
〒104-0043 東京都中央区湊3-18-17マルキ複合ビル5F
Tel.03-3553-3731 1部 〒168円・月720円

岡山市北区辰巳22-103 Tel. 086-242-5510
http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html e-mail: shamin_okayama@fancy.ocn.ne.jp

発行責任者 武本恒夫



党県連合近くの公園「さくら満開」3/24

統一自治体選挙はいのち・くらしの安心・安全へ大切な一票を!

くらしが一番 がんこに平和

統一自治体選挙 全国連合アピール・抄

統一自治体選挙は「がんこに平和 くらしが一番」を訴え、軍拡増税や原発政策の大転換を強行する岸田政権から地域住民のいのちとくらしを守る政治を実現する闘いです。岸田政権は「敵基地攻撃能力の保有、軍拡予算5年で43兆円、日米軍事同盟の強化」などの「安保3文書」を閣議で決定し、戦争をする国へと

大椿ゆうこ副党首 参議院比例繰り上げ当選確実

社民党・福島党首が3月22日の会見で、大椿ゆうこ副党首の参議院繰り上げ当選が確実になったと報告。2019年参院選で社民比第1位の吉田忠智議員が参院・大分選挙区の補欠

長崎・府連代表が引継ぐ。

幹事長 武本 恒夫

4年毎の統一自治体選挙が始まった。選挙はいまでもなく、市民の声を反映させる有権者の義務であり権利である。社民党も全国で公認、推薦候補者が多く立っている。県内では、県議選(津山・苫田・勝田)で推薦候補者が「安心して子育てできる岡山づくり」

つき進んでいます。また監視社会につながる「マイナンバー利用拡大法案」をすすめようとしています。

いのち・くらしを守る

一方、国民生活は低賃金と物価高騰、公的医療の弱体化、高齢者医療や介護の負担増、教育・子育ての低予算、生活保護基準引き下げ等困窮しています。民意や地方自治を無視した平和と暮らしを破壊する岸田自公政権退陣の声を地域から上げよう。

(「新報」3/29より)

吉田議員は30日辞職。

後、中央選管・比例代表選挙会を経て告知。大椿さんは高梁市出身。統一自治体

選・大阪府議選の戦いは、長崎・府連代表が引継ぐ。

「小さな身近な声を県政へ」と訴えている。

最近「投票に行っても何も変わらない」「支援できる候補者がいない」という声を聴くが、それだけ地方がなげがしろになっている状況ではないだろうか。私たちの手で地方から改革をすすめるためにも、投票に足を運び、住みよい地域社会を一緒につくっていきましょう。

まず自分が1票を!

「いのちと健康、安心の福祉社会、格差・貧困の解消自治体こそ人権保障の砦」など、自治体選挙は重要な課題を問われています。住民が政治や行政に自分の意思を表明する重要な機会です。地域から戦争への道を阻止し、いのちとくらしを守るため、一緒に地域から政治を変革していきましょう。

【拾いある記】編集子

「早飯喰いも若の内」のためか歳相応にか、思いもかけなかった誤嚥性肺炎で2週間入院のはめになった。これまで病気が多い病気もなかったが、初めての酸素吸入も経験した。手厚い治療・看護を受けたが、もしコロナ感染拡大がピークの時だったらどうなっていたらだろうか。入院できず自宅

党県連合活動日誌

- 3/5 小原なおみ事務所開き (宮田)
- 3/8 解放共闘会議幹事会
- 3/15 市民と野党の打合せ
- 解放共闘総会・学習会
- 3/31 統一自治体選挙(県議・岡山市議選告示)
- 小原なおみ出発式(社民党推せん)

※選挙が間近となったため、党県連合定例街宣、市民と立憲野党の合同宣伝は中止としました。
※統一自治体選挙にむけて、立憲野党の共闘推進の立場で、推薦の他、個別に全力で支援・協力。

トルコ・シリア大地震 被災者支援募金ご報告

ご協力ありがとうございます。3月末をもって一旦集約、ご厚志は社民党全国連合に集約、UNHCRなどに送ります。
※全国集約別途「新報」紙面にて
県連合集約 81,089円

療養となった陽性者の不安万一、肺炎・酸素吸入が必須となったときの状況に思いがめぐってきた。入院して社会の一面を垣間見て感じることもあった。「どうしても仕事で現場に行かなければ」と主治医の説得を振り切る形で「強行退院」を図るなど、一辺通りの言葉で済まないリアルな現実をも見せられた。



4月、それぞれ新しい一年生であつたり、社会人であつたり、新しい旅立ちのすべてがまぶしい季節だ。それを祝うかのようなWBCでの日本チーム優勝だった。それ以上に各試合で見せたプレーは明るい話題となった。▼こちらの話題はどうか。5月連休明けからのマスク着用か否かは原則「自己判断」という方針だ。コロナがどこまで科学的に解明されたのか、情報はどうなっているのか、不安な点はないか。この象徴となった「アベノマスク」の情報開示にみた黒塗りでは被災するのは国民だ。

▼統一自治体選挙が始まった。自治体の首長、議員を選ぶのも、政治と暮らしに直結する。基地問題・原発政策をはじめ、環境・医療・福祉問題から身近な市民生活のどれ一つとっても関わりのないものはない。「どうせ何も変わらない」ではなく、投票で意思を示すことが大切だ▼あつ!先月号本欄の「神の手」についてご指摘があり、食器収納だけでなく、料理も「神の手」であることはもちろんだ(への

定例学習・読者会

「新報」読者会
4月11日(第2火) 17時
辰巳「時事問題懇話会」
4月28日(月末金) 17時
※コロナ状況により変更あり
いずれも辰巳・新事務所

県議選・岡山市議選挙
告示日 3月31日
投票日 4月9日
※後半も市町村選挙続く

4/26(水) 18:00
党定例街宣
4/29(土) 17:00
市民と立憲野党合同街宣
いずれもマツキヨ前

統一自治体選挙 投票に行こう

社民党サポーター募集中
年会費1000円オンライン申し込み⇒
https://sdp.or.jp/sdp-supporter/

ご案内